



ぐんぐん

立山北部小学校

1年 学年だより

令和5年度 No.8



2学期を振り返って

2学期の子供たちの成長は、目覚ましいものでした。運動会や学習発表等の行事はもちろんのこと、日常のちょっとした活動や体験一つ一つも初めての経験だった1年生ですが、本当に一生懸命取り組み、確実に成長していきました。どの子にも充実した2学期だったことと思います。

授業では、自分の考えと友達の意見を比べながら聞いたり、自分の考えをもって発表したりする子供が増えてきました。国語科「じどう車くらべ」の学習の様子です。

先生：クレーン車はどんな仕事をしているのでしょうか。

Aさん：重い物を運ぶ仕事です。

Bさん：物を吊り上げる仕事です。

...

Cさん：わたしもAさんと同じで「重い物を吊り下げる仕事をしています」です。

先生：Aさんと一緒だったかな。

Dさん：Bさんは、「物を吊り上げる仕事だったけれど、Cさんは「重い」が付いたから、ちょっと違う。



「うでが、のびたりうごいたり」を体で表現！

この後、子供たちは、クレーン車の仕事の文中にある「重い」という言葉のもつ意味について話し合いが盛り上がっていきました。「重い」という言葉が特になくてもよいという立場の子供たちに対して、「軽い」という言葉をもってきて、「重い」という言葉の必要性や、「重い」という言葉があるから、「車たいが かたむかないように、しっかりした あしが、ついています」という、クレーン車の「つくり」があること等を主張していきました。

それまで、何気なく言葉を読んでいた子供たちでしたが、たった1つの言葉でも、重要な意味をもって使われていることに気付きました。また、言葉の意味を考える時に、対義語をもってきて比較することで、意味がはっきりしてくるというものの見方についても自分たちで見付けていきました。これも、子供たちの「聞く力」が付いてきたからなのだと思います。3学期も「人の話をしっかり聞き、自分の考えをもって発表する」ことが身に付くよう励ましていきたいと思っています。



「つりあげる」の言葉の意味を確認しています。

進んで調べる

国語科で「ものの名まえ」の学習をしました。ここでは、日々の生活の中で無意識に使用しながら自然に習得している語句に注目し、一つ一つの物の名前やまとめた名前を意識的に学習します。そして、ものの名前を集めてお店屋さんごっこをします。お店の準備をしているときのことです。Eさんが「花屋さんに売っている花の名前を調べたいので、図書室に行ってもいいですか」と聞いてきました。これまでも「うみの かくれんぼずかん」や「じどう車ずかん」づくりで、図書室の本を参考にしたことを思い出したのでしょう。

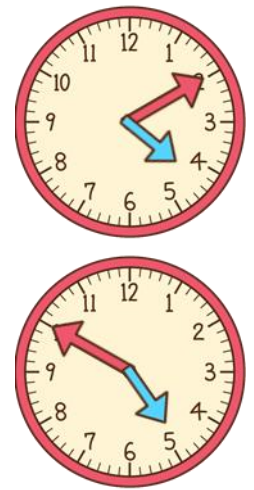
Eさんの分からないことを図鑑で調べたいという取り組みのよさを伝え、その他に、家の人に聞いたり、実際のお店で調べたりする方法もあることを紹介しました。すると、翌日、八百屋を担当するFさんが、「お母さんとスーパーに行って調べたら、春菊とほうれんそうという野菜があったよ」とうれしそうに教えてくれました。そして、早速カードに書いていました。また、楽器屋を担当するGさんは、音楽室に行き、楽器の名前を調べてきました。分からないことを進んで調べようとする姿勢をこれからも大切にしていきたいと思っています。



生活の中に時計を…

算数プリントに時刻の読み方を入れています。子供たちがよく間違えるパターンとして、4:10は読めるのに、4:50だと読めなくなるというのがあります。これは、右図のように、4:10の場合だと、短針が4に近いために4時台だと読むことができます。ところが、4:50の場合、短針が5に近付くために、子供たちは目でぱっと見て近い数の5時台だと思ってしまうようです。「4と5の間に短い針があるときは、4時。小さい方の数を読みましょう」と教えています。お家でも、ちょっとアドバイスをいただくと、すぐにできるようになります。

日々、時計を意識して、声に出して読むことを続けることで、読み方が定着していくものです。学校でも、「10時20分までに戻って来ましょう」「掃除は1時5分から始まるよ」等、子供たちに時刻を意識させていくようにしています。ご家庭でも折に触れて時刻を意識させて「今、何時かな？」とか「何時何分になったら〇〇するよ」というように、子供たちに時計を読む機会をつくっていただきたいと思います。



また、「生活と時計を結び付ける」ことも大切です。朝、起きる時刻、支度を始める時刻、家を出る時刻等を決め、時計で時刻を教えて、自分で生活をコントロールするようにするとよいと思います。日常生活を時計と結び付けていくことは、時刻の学習ということだけでなく、生活を自分でつくろうとする子供を育てることに繋がります。

生活科「ありがとう いっぱい」

生活科「ありがとういっぱい」の学習では、子供たちと一緒に仕事に取り組んだり、家事の方法や気を付けること等を教えたり、ほめたりたりりしていただきありがとうございました。子供たちは、1年生なりに、家族を笑顔にするために、家族の役に立とうと取り組んだようです。また、「選んだ仕事だけでなく、別の仕事にもチャレンジしたい」「これからも仕事を続けて、少しでも家族をらくにしたい」という思いをもつ子供も多く、家族の一員であるという意識を高めることができました。今回の学習を冬休みの生活にもつなげていきたいと考えています。年末は大掃除の季節でもあるので、子供たちに活躍の場を与えていただけるとありがたいです。ご協力よろしくお願いします。

たたむ前に、しわをしっかりと伸ばします。



自分が取り組んだ仕事を紹介しました。

お知らせ・お願い

<校外学習「雪と親しむ活動」>

- ・2月8日(木)に、国立立山青少年自然の家で雪と親しむ校外学習を行います。チューブそり体験、トントンの森散策等の活動を予定しています。子供たちが快適に活動できるよう、当日は雪上での活動に適した服装を準備してください。〔帽子(防寒用)・手袋(防水)・スキーウェア(上下)・長靴・タオル等〕
- ・昼食は国立立山青少年自然の家の食堂で食べる予定ですので、昼食の準備は必要ありません。詳細については、しおりを配付しますので、確認をお願いします。

<鍵盤ハーモニカの吹き口・ホース>

- ・鍵盤ハーモニカの吹き口とホースを持ち帰ります。冬休み中に洗って、しっかり乾かしてください。1月10日(火)に持たせてください。

<学習用具の確認>

- ・クーピー、マジック、水彩セットを持ち帰ります。不足している物があれば、補充してください。マジックは、しっかり書けるか確認してください。水彩セットに入っているタオルの汚れがひどい場合は、洗濯または、交換をしてください。併せて、筆箱の中の確認もお願いします。クーピーとマジックは、1月10日(火)までに持たせてください。

